

平成20年度第4回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時, 会場

- 平成21年3月27日(金) 18:30~19:56
- 宇品老人いこいの家 3階大集会室(南区宇品御幸四丁目)

2 出席者

- 会長外10名出席

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 平成20年度第3回協議会の議事概要の確認
- 平成21年度の工事概要の説明
- 出島地区港湾整備事業環境監視結果, 周辺環境の事前調査結果及び遮水シート等材料試験結果の報告
- 次回の協議会の日程は後日調整

(2) 発言要旨

- 平成20年度第3回協議会の議事概要の確認
 - ・コンテナの問題については今後一切言わないでほしい。コンテナという問題を取り上げるなら, 白紙にきなさい。今後, コンテナという問題については3年あるいは5年搬入した後にどうしてもこの方が安全ですよという問題が出たら考えるということをやってもらいたい。協議の対象とはならないということを前提に今後進めていきたい。
 - 輸送方法については, 環境負荷の問題から今のコンテナ方式の方がより環境に与える影響が少ないという方向で進めている。
 - コンテナ方式に切替えたときはどういう影響評価ができるかといったことも含めて御説明の機会をいただきたい。その点で御協力をいただきたいと思っているが, 御意見は真摯に受けとめて内部で検討してまいりたい。
 - ・今までは県側の議題ばかりをとりあげてきたが, 今後は地元側の議題も取り上げ, 県側の議題と地元側の議題の2通りでやっていきたい。その点も諮っていただきたい。
 - 貴重な御意見でございます。県が出す資料で説明をするばかりではなく, 地元の方々の御意見, 御要望等を加えながらこの事業を進めていくということで, これにつきましては大いに結構かなと考えている。
- 平成21年度の工事概要について
 - ・汚濁防止膜の撤去はいつ頃になるか。
 - 汚濁防止膜は工事が完全に終わった後撤去することになるので, 平成22年度の末ということになるかと思う。

- ・汚濁防止膜というのは、汚濁にはよいが、自然界にとっては悪い。オイルフェンスがあってその下に2mのスカートがある。そのスカートが魚群を寄せつけない、あるいは魚群を吐き出す。前に出ようがないこともあって、全然鰯の接岸等がない。そのため、早くケーソンをやった上でケーソンが済んだらすぐに撤去することをお願いしたい。
 - 濁りが発生しなかったらスカート部分はいらないが、ただ、浮標灯とあわせて汚濁防止膜の上の浮いている部分は作業区域を示して作業船以外の船舶の進入制限をかけており、全部をとるということはできない。下だけ、護岸を締め切った後に取り外すことが可能かどうかということとは検討する。
- ・今まで工事が5年遅れている。今のところ遅れは予定どおりでこれ以上はないか。
 - 楽な工程ではないが一生懸命工程管理しながら進めている。そういう意味では前回1年間遅らしたこともあったが、今それ以上に遅れることはない。
- ・工事の状況が遅れていることで、早い時間帯から遅い時間帯まで工事を承諾している。日曜日の工事は無くせないか。
 - 今、日曜日はやっていないが土曜日は依然としてやっている。今後も、土曜日はやるということを前提に工事スケジュールを考えている。
- ・協定書でも時間も約束どおりではなくなっている。元に戻して工事を頑張る。その予定を作ることはできないのか。
 - 最後の工程をシビアにしている。今年度、大型工事ということで最後に一括発注をしようということで準備を進めている。その工程で考えても、開口部の部分がどうしても、順番を追って一次遮水、石を入れて二次遮水さらに外から石を入れなければならない。これをシビアに積み上げていくとどうしてもあまり余裕がない状況。
- ・少しでも遅れたら伝えてもらいたい。今までぎりぎりになって3年いっきに延ばされたりとか、2年延びたりとかがあった。今は順調というのだったら、土曜日の工事やめていただきたい。
 - 現状では土曜日を含めて工程をいかに短縮するかということに鋭意検討、努力している。もうしばらく御容赦をいただきたい。
- ・10年経った時点で、もう少し延ばさせてくださいということは絶対に納得しない。今は時間延長とかいろいろなことで納得しているが、そののところは何度も言わせてもらおう。
 - 今のところ協定の中で尊重してまいりたいというところを、我々も強調しているし、本会議でも答弁しているので、そこは我々としても守っていく。
- ・余水処理施設については今までどおりの建設になるのか。
 - 余水処理施設については変更ない。
- ・揚陸施設と積出施設はいつからやるのか。間に合うのか。コンテナの方が早いということは理由にはならない。
 - コンテナに変えるから早くなるとか、工事の短縮をねらったものではない。
- ・五日市の問題もある。五日市を無視したままで話をこのまま続けることはできない。最悪の場合、五日市がどうにもならなかったときには、私達が時間をかけて

一生懸命やったことが実施に移せないということになる。うちはうちだけの話よというわけにはいかない。

→ 引続き努力をしてまいりたいと考えている。

○ その他

・協議会の日程についてある程度決めておきたい。

→ 会議の進め方についてできるだけ早いうちに皆様にお示しをできればと思っています。地元の意見，要望も議題としてとり上げ，議論する場にしていきたい。

4 会議資料の資料名一覧

- ・平成20年度第3回出島処分場事業連絡調整協議会の概要
- ・出島地区廃棄物処分場工事だより
- ・出島地区港湾整備事業環境監視結果の概要
- ・周辺環境の事前調査結果について
- ・平成20年度遮水シート等材料試験立会結果

※ 担当事務局

広島県環境県民局環境部産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)